

観音寺川桜まつり

桜の名所として広く知られる観音寺川には、大勢の花見客が訪れました。ことしは初の試み「七色変色ライトアップ」も行われました。



1_ 期間中は多くの出店が並んだ 2_ 笑顔での接客に、お客さんとの会話も弾む 3_ ことしも多くの人を訪れ、思い思いに花見を楽しんだ 4_ 町商工会青年部の部員とOBの有志による「七色変色ライトアップ」の様子 5_ 香ばしいにおいに誘われ、多くのお客さんが集まる 6_ 猪苗代観光協会が設置した臨時の観光案内所



【VOICE】



町商工会青年部
西村和貴 部長

今後もライトアップ事業を展開し、町を元気にしていきたい

桜のライトアップは、事前のPRが十分でなかったにもかかわらず、大勢のお客さまにお越しいただき、楽しんでいただくことができました。これは、見に来てくれた人たちがフェイスブックなどに投稿してくれた効果だと思えます。今後は町内の他の場所でもライトアップを実施し、町を元気にしていきたいですね。8月に天神浜で開かれる「オハラ☆ブレイク」では、新しいご当地グルメをお披露目します。皆さんもぜひ食べてみてください。



おかめの会さくら祭り

町内の旅館やホテルの女将たちでつくる「おかめの会」などが主催。葉桜の中での開催にもかかわらず、多くの人でにぎわいました。



1_ 青木宗寛社中による野だて。猪苗代湖を眺めながらいただくお茶は格別 2_ 笑顔でこづゆを振る舞う。受け取るお客さんからも笑みがこぼれる 3_ 会場ではさまざまな団体が多彩な演目を披露し、訪れた人々を楽しませた 4_ ピンクの法被は明るい女将たちのイメージにぴったり 5_ 野菜や漬物物を販売した「きずなファーム」



【VOICE】



おかめの会
星 久子 会長

人と人とのつながりが、町おこしにつながっていく

今年は桜の散るのが早く、葉桜の中での開催となりましたが、多くの皆さんにおいでいただき、また、多くの団体に協力いただき、盛大に開催できました。アンケートでは「手作り感があっていい」「桜がなくても素晴らしい景色」などと好評で、こづゆの振る舞いも人気でした。今後もみんなで協力合せて、「絆」を大切にイベントを続けていきたいです。そういった人と人とのつながりが町おこしにつながっていくのだと思います。



特集 ふくしまDCを振り返る

4月から3カ月間にわたって実施された大型観光キャンペーン「ふくしまステーションキャンペーン(DC)」が6月30日に閉幕しました。DC期間中、町内ではさまざまなイベントが繰り広げられ、大勢の観光客で町がにぎわいました。期間中の様子を写真で振り返ります。



さまざまな企画やおもてなしでお客さまを歓迎



1_ 町役場前に設置した歓迎のぼり旗 2_ 猪苗代観光協会が配布した歓迎缶バッジ 3_ 勇壮な太鼓でSLを歓迎する、いなわしろ天鏡太鼓の皆さん 4_ SLの乗客を歓迎する「ひでよくん」や関係者 5_ 4月にはアクアマリンいなわしろカワセミ水族館がオープン 6_ ふくしまDCに合わせて作成した観光パンフレットやチラシ

DC終了後も、事業を切れ間なく実施していく



猪苗代観光協会
天野 信雄 事務局長

福島の復興アピールと風評の払拭、観光素材の掘り起こしと磨き上げを目的に開催されたふくしまDCが、関係団体のご協力により無事、成功裏に終了することができました。

猪苗代観光協会では、昨年からの町商工観光課、町商工会などの町内関係団体と協議を重ね、準備を進めてきました。

DC本番のことは、首都圏のJR主要駅と郵便局に観光ポスターを掲示するとともに、総合観光パンフレット「春たび」を作成し、キャラバンなどで積極的に猪苗代の良さをPRしてきました。

また、町内では歓迎フラッグの設置や歓迎缶バッジの着用により、お客さまをお迎えする体制を整えました。

4月に入り、町内各所で桜まつりが開催され、当協会では桜の名所を巡る「ぼけっとツアー」を催行し、お客さまからは大変ご好評をいただきました。

さらに、JRとも連携しSLやほろ酔い列車運行に合わせて歓迎イベントも行いました。

今回のDCでは、野口英世記念館リニューアルオープンと迎賓館の特別公開に加え、カワセミ水族館のオープンと明るい話題が続いたことも追い風となり、昨年より多くの方が猪苗代を訪れました。

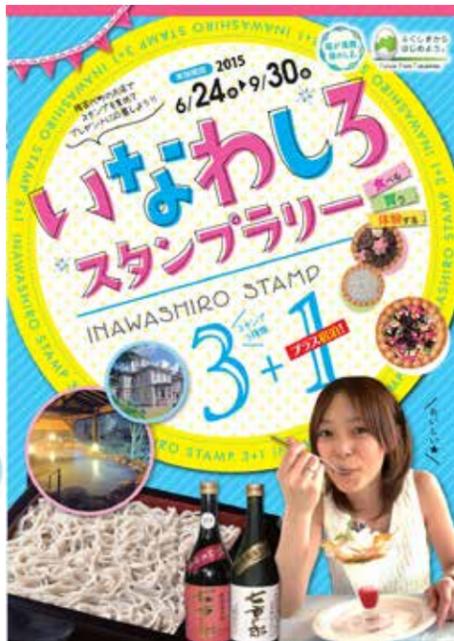
今後も町内の回遊性を高めるため、スタンプラリーや無料レンタサイクル事業などを切れ間なく実施し、猪苗代の観光振興に取り組んでまいります。

まだまだ続く！

町内・県内周遊型イベント

【町内周遊】

いなわしろスタンプラリー～INAWASHIRO STAMP 3+1～
期間：9月30日(水)まで 猪苗代観光協会 ☎(62) 2048



猪苗代観光協会では、町内の「食べる・買う・体験する」+「泊まる」をテーマとした観光スタンプラリーを開催しています。

専用パンフレットに掲載の「飲食店」「菓子店・物産店」「体験・入館施設」の参加店を利用し、3ジャンルからスタンプを1個ずつ(合計3種類)集めると、町内食事券や町内産米「天のつぶ」、物産詰め合わせ(2～4等)が当たる抽選会に応募できます。

さらに宿泊施設参加店に宿泊して(スタンプ4種類)を集めると、町内ペア宿泊券(1等)が当たる抽選会に応募できます。スタンプラリーに参加して、豪華賞品をGETしましょう！

【県内周遊】

リアル宝探しイベント in 福島「コードF-5」
期間：9月27日(日)まで 県観光交流課 ☎024(521)7391



コードF-5は、県内30エリアのどこかに隠された宝箱を探し出す、体験型のリアル宝探しゲームです。

参加者は宝の地図(参加冊子)を手掛かりに、描かれた謎を解き明かし、隠された手掛かりを見つけながら、最終的に「宝物」を発見します。

宝箱探索の間に触れる、観光地の名所、隠れスポットやおみやげ屋さんの店主との会話など、自分だけの発見を楽しみながら参加できます。

宝箱を発見すると、缶バッジやクリアファイルなどが必ずもらえるほか、抽選でびゅう商品券10万円分、県内旅館・ホテル宿泊券など豪華賞品が当たります。

野口英世記念館

リニューアルオープン(4月1日)
DC記念イベント(6月27日)



1_竹田副理事長による「細菌の話」 2_太鼓の演奏を披露するいなわしろ天鏡太鼓の皆さん 3_博士の生家の前で紙芝居を披露 4_餅の振る舞いが大好評 5_式典でテープカットする関係者 6_好評を博した学芸員による館内のガイドツアー 7,8_リニューアルされた館内は見どころ満載 9_ひげと白衣で博士に変身



日暮正美、京子(神奈川県)

今日は、ガイドツアーを目当てに来ました。自分たちだけで見るのとは違い、ガイドの方が説明してくれるのでいろいろなことが分かっていいですね。とても満足しています。博士の母、シカさんの手紙や博士が研究に使った道具なども実際に見ることができてよかったです。

天鏡閣・迎賓館

迎賓館特別公開(4月29日～6月30日)
天鏡閣自然観察会(6月27日)
おもてなしデイ(6月28日)



1_エピソードを交えながら天鏡閣の説明をする長沼あけみ館長 2_格調ある調度品の数々を眺める来館者 3_迎賓館の建築について説明する職員の穴澤一真さん 4_新しい発見がいつばいの天鏡閣自然観察会 5_まるで紙飛行機のようによく飛ぶ「ゼンマイ」の飛行機 6_来館者にお茶の手ほどきをする、熊倉宗久社中の皆さん



山田幸恵(左、宮城県) 木幡さと子(右、福島市)

迎賓館が特別公開されているということで、家族で来ました。和風建築の粋を説明付きで見学できるのはありがたいですね。天鏡閣も案内してもらえてよかったです。おかげで歴史上のいろいろなつながりも分かり、とても有意義な時間を過ごすことができました。